

解禁日時
9月28日記者会見終了後

定例記者会見資料
平成28年9月28日
教育部文化課

三雲・井原遺跡から出土した2個目の硯について

1. 発見の経緯とその意義

【確認の経緯】

平成28年2月に記者発表した石硯は、確認後すぐの記者発表であったため、それ以後、継続して資料整理を行った。その結果、平成27年度調査分からは確認されなかったが、平成26年度調査分を再確認したところ、硯らしき資料が確認されたため、武末純一氏（福岡大学教授）、西谷正氏（伊都国歴史博物館名誉館長）に実見してもらい、類例と比較し硯と同定された。

【硯出土の意義】

- ① これまでも三雲・井原遺跡番上地区には楽浪郡から来た人々が滞在したことが想定されていたが、硯の出土により楽浪郡（中国）との正式な文書のやり取りや、銅鏡など下賜品に対する受領書・返礼書などが作成された可能性が高まった。つまり、楽浪郡からの使者が渡海する目的の一つが伊都国の王都とされる三雲・井原遺跡の訪問にあることが想定される。
- ② 『魏志倭人伝』には伊都国で文書（木簡）を取り扱った記事があるが、1例目の硯の出土で記述の信頼性が高まっていた。くわえて、硯も複数となったことから、番上地区で長期にわたり継続的に硯を使用した文書の作成事務が行われたことも考えられ、伊都国が対外交流における核であることがより鮮明になった。
- ③ 朝鮮半島南部でも茶戸里遺跡で筆が出土し、半島南岸まで文書（木簡）が使用されていることは出土品から確認されていたが、筆は有機質であるため環境によっては残らないことが多い。複数の硯の出土は日本における文字文化の受容の中心が伊都国である可能性が高いことを示す。

2. 調査成果の概要

- ・遺跡名 ; 三雲・井原遺跡番上地区（三雲332番地）
- ・主な遺構 ; 土器溜り（弥生時代中期～古墳時代前期）、住居跡（弥生時代）、
- ・出土遺物 ; 弥生土器・土師器・石器・鉄器・楽浪系土器・硯
- ・ポイント ; ◎2個目の硯が出土

※今回の出土で三雲・井原遺跡が硯の国内最多出土遺跡になりました。

3. ポイント解説

◎ 2 個目の硯が出土

【大きさ】 長さ ; 5.4 cm + α 、幅 ; 3.9 cm + α 、厚さ ; 5 mm

【材質】 砂質片岩

九州大学足立達朗助教のルーペによる観察による (1 例目も砂質片岩)

【出土地】 三雲・井原遺跡番上地区 (332 番地) …前回の調査区の北側
土器溜り 12B グリッド

【時期】 土器溜りは弥生時代中期～古墳時代前期の土器を含むが、周辺の土器は弥生中期後半～後期後半頃が主体

【概要】 中国では戦国時代末以後に硯が用いられるが、実際に普及したのは漢代とされる。材質は石製・金属製・陶製等さまざまであるが、石硯が圧倒的多数を占める。今回出土した硯は長方形板石硯で、漢代において最も出土量も多く、分布範囲も広い。吉田恵二氏によると 1993 年段階で中国だけでなく朝鮮半島やベトナムでも発見されている。なお、石材は粘板岩か砂岩系の物が多い。

なお、漢代は粉末状もしくは粒状の墨丸を硯の上で研石を用いて磨るため、現代の硯にみられる海等はない。

また、実際の使用例として、彩篋塚の事例を示すが、黒漆塗の座板に石硯を埋め込んで用いる。そのため、石硯の裏面は粗い加工で済まされていることや厚さが 6 mm 程度と薄く仕上げられることが形態的特徴として挙げられる。

【出土例】 日本では田和山遺跡 (島根県松江市) の環濠出土例 (石硯 + 磨石) に限られており、本例は前回報告したものにつづく国内 3 例目となる。

【別個体とする根拠】

① 硯面の違い

1 例目は砂質片岩の砂質部分を利用。本例は泥質部分を利用。

② 裏面加工の違い

③ 形態の違い

厚さは 1 例目が約 6 mm、2 例目は約 5 mm。

両者に接合する面がない。

2 例目の方が再利用の度合いが強く、側面の縁が丸みを帯びる。

4. コメント等をいただける有識者について

※硯・楽浪系土器・番上地区の性格について

武末純一 (福岡大学教授)

福岡大学代表 TEL092 - 871 - 6631 TEL080 - 1742 - 8723

西谷 正 (伊都国歴史博物館名誉教授)

TEL090 - 5382 - 2605

※田和山遺跡の硯について

飯塚康行 (松江市歴史まちづくり部埋蔵文化財調査室長)

TEL0852 - 55 - 5292

5. 硯の公開について

伊都国歴史博物館で開催される『王の鏡～平原王墓とその時代～』展にて展示

【期間】 10月8日(土)～11月27日(日)

【問い合わせ先】

教育部文化課文化財係

担当；平尾

電話；323-1111 (内線 2144)

332-2093 (直通)

定例記者会見資料

平成28年9月28日

教育部文化課

平原遺跡出土品国宝指定10周年記念事業

伊都国歴史博物館秋季特別展『王の鏡 ～平原王墓とその時代～』 の開催について

糸島市曾根に所在する平原遺跡は、昭和40年に発掘調査が行われ、国内最大の銅鏡をはじめとする大量の銅鏡や装身具、大刀など、他に類を見ない重要な副葬品が発見されたことにより、その出土品は平成18年6月に「平原方形周溝墓出土品」として国宝に指定されました。

今年、この平原遺跡出土品の国宝指定から10周年を迎えました。これを記念して伊都国歴史博物館において、下記のとおり特別展を開催いたします。

記

1. 名称 平原遺跡出土品国宝指定10周年記念事業・伊都国歴史博物館秋季特別展
『王の鏡 ～平原王墓とその時代～』
2. 会場 伊都国歴史博物館 企画展示室
3. 会期 平成28年10月8日(土)～11月27日(日)
4. 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
5. 料金 大人300円・小中学生200円

※障害者手帳をお持ちの方(付き添いの方1名まで)無料。

6. 開催趣旨

平原王墓が造られた時代とその前後に、北部九州各地に出現した王達。それら弥生時代の王墓・有力首長墓の出土品を伊都国歴史博物館に集めて展示いたします。

奴国の王墓とされる須玖岡本遺跡(春日市)、末盧国王墓とされる桜馬場遺跡(唐津)といった「魏志倭人伝」に記された国々の王墓、その他にも嘉穂の立岩堀田遺跡、佐賀平野の二塚山遺跡など、国宝・重要文化財等に指定されている、各地の貴重な弥生時代の王墓の出土品が伊都国の地で一堂に会します。

本展では、これら各地の王墓に副葬された「鏡」を中心に、それらに写し出された平原王墓とその時代の倭人社会の姿を探ります。

5. 主な展示品

()内は遺跡の所在地

国宝＝平原方形周溝墓出土品(糸島市)、国重要文化財＝立岩遺跡出土品(飯塚市)・桜馬場遺跡出土品(唐津市)・二塚山遺跡出土品(上峰町)・吉武樋渡遺跡出土品(福岡市)ほか、
県指定＝三雲南小路遺跡出土品(糸島市)、久里双水古墳出土品(唐津市)・柁島山遺跡出土品(武雄市)・惣座遺跡出土品(佐賀市)ほか、市町村指定＝那珂八幡古墳出土品(福岡市)・立石遺跡出土品(春日市)ほか

展示品総数 約 250 点

6. 関連事業

①特別展開催期間中は国宝「平原方形周溝墓出土品」のすべてが糸島に里帰り

10月8日(土)から11月27日(日)の特別展開催期間中、日本最大の銅鏡である内行花文鏡5面をはじめとする40面分の銅鏡、玉類(ガラス勾玉・瑪瑙管玉・耳瑠残欠等)、鉄素環頭大刀などの鉄器類など、国宝に指定されている平原方形周溝墓出土品のすべてが伊都国歴史博物館に揃います。

②特別講演会を開催

著名な講師をお招きして展示会のテーマに関連した特別講演会を2回開催いたします。

(1) 11月6日(日) 14時～

「韓半島からみた倭人社会と鏡文化」

講師：藤田 憲司 氏(NPO 法人国際文化財研究センター所長)

(2) 11月23日(水・祝) 14時～

「弥生王権論 イト国からヤマト国へ」

講師：柳田 康雄 氏(元國學院大學教授)

※いずれも会場は伊都国歴史博物館4階研修室 定員：100名

※申込み方法：10月1日より博物館にて電話による申込み開始

《本件に関するお問合せ先》

糸島市立伊都国歴史博物館(糸島市教育委員会文化課博物館係) 河合 修

〒819-1582 福岡県糸島市井原 916 TEL 092-322-7083 FAX 092-321-9155

スマホ・ケイタイ市民サミット 「大人 VS 子ども」について

本市では、平成 26 年度から中学生が主体となり、糸島市子どもサミットを開催し、SNS 利用についての自主ルールづくりが行なわれています。

そこで今年度は、子ども、大人、地域がスマホ・ケイタイ問題について、一緒に考えるスマホ・ケイタイ市民サミットを開催します。

この事業は、子どもの置かれているネット環境、ネットや SNS に起因する犯罪被害やプライバシー被害、いじめ等の現状について、保護者や地域住民に共通認識として知ってもらうとともに、子どもは大人を見て行動、判断していることを理解してもらうことを目的としています。

スマホ・ケイタイ市民サミットの概要

- 【日時】 平成 28 年 10 月 22 日（土）13 時～17 時
【会場】 伊都文化会館 多目的ルーム
【内容】 ①通信事業者の取組（NTT ドコモ株式会社）
「子どもをトラブルから守るために」
②中学生の取組（中学生代表）
「糸島こどもサミットの取組」
③パネルディスカッション

テーマ「では、大人は大丈夫なのか？」

パネリスト 中学生 4 名（前原中・前原西中・前原東中・志摩中）

保護者 1 名（母親部会）

先生 1 名（生徒指導担当）

地域 1 名（校区民会議）

若者 1 名（青年団）

保健師 1 名（市保健師）

【参加費】 入場無料

【参加申込】 生涯学習課あてに 10 月 1 日～10 月 21 日

ファックス、メール、電話で申込み受付

電 話 092-332-2092

ファックス 092-321-0920

メー ル shogaigakushu@city.itoshima.lg.jp



第 2 回糸島市子どもサミットの様子

第6回 糸島市民まつりの開催について

いとしまの市民力が集まる「糸島市民まつり」を開催します。

名物イベントとなった“グルメグランプリ”をはじめ、海の幸、山名の幸など魅力あふれる物産が揃う“よかもん物産展”、いとしまPR隊 Lovi's!、九州発アイドルグループ LinQ などが出演するステージイベントなど盛りだくさん内容です。

また、4,000発の花火を打ち上げ、秋の空を色とりどりに輝かせます。

いとしまの市民の力を集結して、全力でおもてなしいたします。

【開催日時】 平成28年10月1日(土)、2日(日) 10:00～16:30

※開会式は9:45から開始

【場 所】 糸島市交流プラザ志摩館前 特設会場 (糸島市志摩初30番地)

【主 催】 糸島市民まつり振興会

【主なイベントの内容】

●糸島グルメグランプリ

(1日 10:00～16:00 2日 10:00～15:30)

糸島の食材を使って、市内20店が
グランプリ獲得を目指して競います。



昨年のグランプリ ミートDELICAクローバー

●糸島よかもん物産展(1日 10:00～17:00 2日 10:00～16:00)

糸島の魅力あふれる農産物や特産品、工芸品などの43店舗が集結します。

●27時間連続餅つき(1日 9:00～ 2日 12:00)

市青年団が6俵(360kg)の餅を27時間連続でつきあげます。

●ステージイベント(1日、2日 10:00～16:00)

いとしまPR隊 Lovi's! や市民の皆さんがまつりを盛り上げます。

●花火大会(1日 ステージ16:30～ 花火19:30～)

加布里漁港広場を舞台に4,000発の花火を打ち上げます。

【問い合わせ】

糸島市民まつり振興会事務局 (担当:青木)、市地域振興課 (担当:黒岩)

電話 振興会事務局 092(332)7501、市地域振興課 092(332)2062

E-mail 振興会事務局 itoshimamatsuri@gmail.com

市地域振興課 chiikishinko@city.itoshima.lg.jp